

お元気ですか



八女市議会です

議会だよりやめ No.185 令和6年8月1日



星野村で燃え続ける平和の火

この火は星野村で生まれ育った故山本達雄氏によって広島から星野村へ持ち帰られ、原爆犠牲者の供養の火として23年間、守り灯されてきました。その意志は平和への願いとともに昭和43年に星野村へ、平成22年には八女市へと引き継がれ、現在も争いのない平和な世界を願って平和の塔に灯されています。

6月定例会から(補正予算・議案審議)…………… 4

ここが聞きたい!一般質問14人の議員が登壇…… 6

委員会からの活動報告…………… 14

聞いてきましたまちの声(表紙関連インタビュー)

星野村で燃え続ける「平和(原爆)の火」…………… 16

6月 定例会

6月定例会は、5月29日から6月14日までの17日間の会期で開催しました。市長より提案された議案は、3億3473万円を追加する一般会計補正予算案や条例改正案、監査委員の選任などが提出され、いずれも原案どおり可決・同意しました。（賛否表15ページ）

また、委員会から提案した意見書案2件を原案どおり可決しました。

一般会計補正予算の主な事業

一般会計補正予算案は、予算審査特別委員会を設け、分科会（各常任委員会）ごとに審査しました。
（委員会審査／4～5ページ）

農業者漬物づくり継続支援事業 3000万円

地域の特産品である漬物の伝統の味の継承を図るため、農業者が取り組む漬物製造に必要な施設整備の支援を行います。

福岡県宿泊税市町村交付金事業 1755万円

宿泊税を活用した観光資源の魅力向上のための企画事業で、4月25日にリニューアルオープンした上陽町の施設「ダニエル イノウエ ミュージアム」でマルシェなどのイベントが実施できるように環境を整備します。

保育所等給食支援事業 929万円

物価高騰の影響を受けている私立保育所等に給食材料費の高騰分を助成することで、これまでどおりの栄養バランスと量を保った給食の実施を支援します。

不登校対策校内支援充実事業 187万円

不登校児支援員を小学校に配置し、児童一人ひとりに合ったきめ細かな対応を実現するために、校内における不登校児童の学習支援や教育相談等不登校対策を行います。

条例改正

八女市国民健康保険税 条例の一部を改正

【提案理由】

地方税法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、本市の国民健康保険税条例の一部を改正するものである。

《反対討論》要旨

高所得者の負担増と低所得者の負担軽減は所得再配分の観点から一定の合理性があるが、全体として国保加入者の負担は増える見込みである。異常な物価高、低賃金、年金の引き下げなどで市民の生活は非常に厳しい現状である。このような中で、国保税の値上げは、市民の納得を得られるものではない。値上げどころか、大幅な引き下げこそ必要であり反対する。

（森 茂生）

請 願

あらゆるハラスメントの防止を求める
条例制定を求める請願（継続審査）

請願者 西方 美智

ほか4人

紹介議員 牛島 孝之

【委員長報告】

他の自治体で制定され

たハラスメントに関する
条例の内容は、対象議員
と職員、議員同士、職員
同士等である。あらゆる
ハラスメントを対象とす
ると、さらに調査が必要
となる。ハラスメントに
関する実態や構成上の枠
組みなどの制度設計を含
め、近隣自治体の状況を
さらに調査研究すべきで

あるとし、審査終了まで
継続審査とすることに決
した。

《反対討論》要旨

近隣自治体でもハラス
メントに関する条例が制
定される中、八女市にお
いても条例を制定し、若
い世代等が住みやすい八
女市を作る努力をするこ
とは、八女市の公益につ
なかり、早期に整備を求
めるため継続審査に反対
する。

（坂本 治郎）

人事案件

次の方を選任することに
同意しました。

監査委員

木下 徳臣 氏

健康保険証廃止の撤回を求める意見書
採択を求める請願

請願者 三角 博

紹介議員 川口 誠二

【請願要旨】

不都合なく使用できている健康保険証の廃止を撤
回し、現行保険証とマイナンバーカード利用保険証
（以下「マイナ保険証」という。）の選択制を求める
意見書採択を求めるもの。

《反対討論》要旨

マイナ保険証で過去の
診療情報を共有し、治
療、投薬の重複が減れ
ば、市の医療費削減に繋
がる。人材不足を補うた
め保険証のDX化は避け
られず、市民の命と健康
を守る新しい基盤となる
ため反対する。

（水町 典子）

《賛成討論》要旨

機械の不具合などのト
ラブルがある中で、利用
者数が多い現行保険証を
廃止することは、数々の
トラブルが発生すると考
えられるため賛成する。

（森 茂生）

意見書

現行「健康保険証」
廃止の撤回を求め
る意見書

【意見書の要旨】

現行「健康保険証」の
廃止を撤回し、存続を求
める意見書採択を求める
もの。

《反対討論》要旨

利便性やコスト削減が
期待される政策である
が、紙の保険証を持ち続
ければ、増税等につなが
るため反対する。

（坂本 治郎）

《賛成討論》要旨

マイナンバーカードを
保有していない人は約
26％である。このような
現状でシステム効率を求
めることは、国民皆保険
制度の崩壊につながるこ
とを賛成する。

《反対討論》要旨

高齢化の進む八女市に
おいて、DX化は推進さ
れる方がよい。現行「健
康保険証」を廃止するこ
とで、国民皆保険制度の
根幹が揺らぐことはない
と考えるため意見書には
反対する。

（三角 真弓）

請願・意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書
採択のための請願

請願者 三角 博

紹介議員 田中 栄一

【請願・意見書の要旨】

地方公共団体は、社会
保障制度の整備、大規模
災害など多岐にわたる対
して要望するもの。

応に迫られている。20
25年度の政府予算と地
方財政の検討にあたっ
て、地方財政の確立を目
指すために11項目につい
て要望するもの。

総務文教 審査の主なもの

○令和6年度八女市一般会計補正予算(第2号)

(全会一致で可決)

- ・情報システム管理運営事業 1921万円
- ・中山間地域活性化調査業務委託料 550万円
- ・不登校対策校内支援充実事業 187万円

○地方財政の充実・強化を求める

意見書採択のための請願 (全会一致で可決)

○あらゆるハラスメントの防止を求める

条例制定を求める請願 (継続審査で可決)

厚生 審査の主なもの

○令和6年度八女市一般会計補正予算(第2号)

(全会一致で可決)

- ・定額減税にかかる調整給付金給付事業 4020万円
- ・母子生活支援施設措置事業 857万円
- ・保育所等給食支援事業 929万円
- ・太陽光発電・蓄電池・空調整備賃借料 1億9707万円

○八女市矢部診療所特別会計補正予算(第1号)

(全会一致で可決)

○健康保険証の撤回を求める意見書採択を求める請願

(賛成多数で可決)

不登校対策に支援員を配置

問 不登校の兆候がある児童に対しても指導するのか。

答 本事業では、不登校となる前の早期対応を重視している。

問 自治体情報システム管理運営事業

問 国の事業であるが、補助の対象とならない事業に対しての市の考えは。

の有効性、地域資源や先行事例の調査、ワークショップ等を予定している。

答 本事業では、不登校となる前の早期対応を重視している。

問 情報漏洩などのセキュリティ対策はどのように考えているか。

答 市長会等を通じて必要な財源確保を要請している。

中山間地域活性化調査業務委託料

問 各校で不登校児童が顕在化している。本制度の今後の見込みは。

答 国が認証したシステムを使用するため、技術的には問題ないと考えている。操作する職員に対し、セキュリティ研修を充実させ、意識改革に取り組んでいく。

問 具体的などのような調査を行うのか。

答 中山間地域でのクラインガルテン(※)

答 経過をみながら、他校でも早期対応を考えており、必要な支援員の費用について、県へ要望し

答 国が認証したシステムを使用するため、技術的には問題ないと考えている。操作する職員に対し、セキュリティ研修を充実させ、意識改革に取り組んでいく。

問 中山間地域でのクラインガルテン(※)

クラインガルテンとは?
ドイツ発祥の農地の賃借制度のこと。田舎暮らしや農業をしたい人が、専門の家屋で短期滞在をしながらプチ田舎暮らしを楽しむことができる。

太陽光発電の導入による電気料の削減と二酸化炭素排出を抑制

問 設置場所は?

答 黒木地域交流センターに太陽光発電と併せて蓄電池の設置、空調設備の更新を同時に行う。

母子生活支援施設措置事業

問 ひまわり園に関する費用との理解でよいか。

答 ひまわり園に関する費用ではなく、八女市に住民票がある人が他市町村へ措置された場合の費用を八女市が負担するものである。逆に八女市が設置している母子生活支援施設に措置された場合は、住民票所在地の市町

問 黒木地域交流センターに太陽光発電と併せて蓄電池の設置、空調設備の更新を同時に行う。

問 ひまわり園に関する費用との理解でよいか。

問 口腔ケアの重要性が注目されているが、往診診療は可能か。

答 この数年、往診依頼はないが可能である。隣接する八女市特別養護老人ホームゆいのりなど

定額減税にかかる調整給付金事業

問 端末処理はどうなるのか。

答 住民税等は1000円単位で計算するので最高額で9900円切り上げ給付となる。

答 この数年、往診依頼はないが可能である。隣接する八女市特別養護老人ホームゆいのりなど



議会の動き

5月

- 10日 正副委員長会
広報委員会
全員協議会
- 15日 厚生常任委員会
- 24日 議会運営委員会
- 29日 令和6年第3回定例会（招集日）
全員協議会
総務文教常任委員会

6月

- 3日 本会議（一般質問）～6日
- 6日 本会議（一般質問・議案審議）
予算審査特別委員会全体会
広報委員会
- 10日 各常任委員会、分科会
- 13日 予算審査特別委員会全体会
- 14日 令和6年第3回定例会（最終日）
全員協議会
- 21日 議会活性化検討委員会

7月

- 1日 広報委員会
- 3日 正副委員長会
全員協議会
タブレット利活用専門部会
市民と議会の意見交換会正副班長会議
公立八女総合病院企業団議会（臨時会）
- 5日 広報委員会
- 17日 総務文教常任委員会
厚生常任委員会
- 18日 議会活性化検討委員会
- 23日 消防組合議会（臨時会）



建設経済 審査の主なもの

○令和6年度八女市一般会計補正予算（第2号）

（全会一致で可決）

- ・農業者漬物づくり継続支援事業 3000万円
- ・福岡県宿泊税市町村交付金事業 1755万円
- ・地すべり災害復旧事業 2億円

漬物の伝統の味を守り継承する

問 農業者漬物づくり継続支援事業の内容はどうなっているのか。

答 補助対象者は、令和3年5月31日以前から保健所への営業届出があり、営業していた農業者及び法人である。補助内容は、改正食品衛生法施行日の令和3年6月1日以降に、新しい基準に適合するための漬物製造に必要な施設や機械器具の

整備に要した経費について補助するものである。補助申請は、対象者へ個別に補助事業の案内を届け、農業振興課及び各支所で受け付けを行う。

問 新規事業者は対象にならないのか。

答 あくまで法改正以前から漬物づくりをしている方の事業継続を支援するものである。

福岡県宿泊税市町村交付金事業

問 観光機能向上業務及び市内イベント実施業務とはどのようなものか。

答 ホタルと石橋の里公園の水遊び場の整備に係る構想や、情報発信のための企画事業を委託するものである。また、アンテナショップでのイベントや都市圏でのPR事業、食の内覧会などの情



報発信のためのイベント事業を計画している。

こ こ が 聞 き た い ! 一 般 質 問

一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を作成し、原則、原文のまま掲載をしています。ここに掲載できない質問答弁や過去の各議員の一般質問は、八女市議会ホームページ等をご覧ください。（データ通信料は利用者負担となります。）



月日	質問者	質問事項	掲載ページ
6月3日 (月)	牛島 孝之	1 八女市の今後の農業・林業についての考えは 2 八女市の教育・文化について 3 公立八女総合病院について 4 八女市の今後の財政について	7
	古賀 邦彦	1 事務管理について 2 人事管理について 3 災害対策について	7
	水町 典子	1 こども医療費について 2 介護福祉事業所の現状と課題について 3 軟骨伝導イヤホンについて 4 A E D の設置状況について	8
	久間 寿紀	1 八女市の森林対策について 2 上陽支所について 3 八女市の財政について	8
6月4日 (火)	坂本 治郎	1 オムツの持ち帰りについて 2 公園の整備について 3 助産院の現状について	9
	森 茂生	1 マイナンバー制度について 2 市職員について 3 学校教育について	9
	原田 英雄	1 頻発する気象災害への対応について 2 山村振興法に基づく山村活性化対策について 3 過疎地域持続的発展計画について 4 辺地対策事業について	10
	服部 良一	1 八女市の人口ビジョンについて 2 G I G A スクール構想について	10
6月5日 (水)	三角 真弓	1 行財政改革について 2 職員の健康管理について 3 老朽化した水道管の対策について	11
	高橋 信広	1 人口減少対策について～人口減少社会を見据えた戦略～	11
	石橋 義博	1 経済対策について 2 観光事業について 3 市民向けのビジネス活性について	12
	高山 正信	1 八女市まち・ひと・しごと創生総合戦略について 2 一般国道3号広川八女バイパスを活用した、東部地区の活性化について	12
6月6日 (木)	花下 主茂	1 みさき学園（仮）の開校に向けて 2 行政区における町内会（自治会）の役割について 3 合併15周年を迎えて	13
	小山 和也	1 将来に向けた企業及び大学等の誘致について	13

忠見小学校及び川崎小学校の廃校後の利用について八女市の考えは

市長

地域の実情やニーズを踏まえながら、慎重に検討していきたい

映像配信
サイト

議員

八女市を一般家庭

八女市の今後の財政

について

ものである。

市長 企業長の交代につ

いて、交代の理由は。

市議員 企業長の交代につ

いて、交代の理由は。

市議員 企業長の交代につ

いて、交代の理由は。

市議員 企業長の交代につ

いて、交代の理由は。

市議員 企業長の交代につ

いて、交代の理由は。

市議員 企業長の交代につ

いて、交代の理由は。

市議員 企業長の交代につ

いて、交代の理由は。

市議員 企業長の交代につ

いて、交代の理由は。

市議員 企業長の交代につ

いて、交代の理由は。



忠見小学校



川崎小学校

市議員 基本設計予算は、

今年度予算より取り下げ

られたが、今後図書館建

設についてどのように考

えているのか。

市議員 八女市立図書館

本館整備計画の具体化に

際し、適切な時期に関係

者への説明を行っていく。

市議員 一般会計における

に例えたときの、預貯金

及び借入金額は。

市議員 一般会計における

に例えたときの、預貯金

及び借入金額は。

市議員 一般会計における

に例えたときの、預貯金

及び借入金額は。

住宅耐震化の補助制度はあるが活用されていない。積極的な取り組みを求める

市長

所有者の意識を高め、耐震化が進むよう引き続き努力していく

映像配信
サイト

議員

不祥事再発防止の対応は

市議員 会計処理の二重

チェックを義務付けるこ

とが必要だと考えるが。

市議員 組織としての体制

の不備を深く反省し十分

市議員 組織としての体制

の不備を深く反省し十分

市議員 組織としての体制

の不備を深く反省し十分

市議員 組織としての体制

の不備を深く反省し十分

市議員 組織としての体制

の不備を深く反省し十分

市議員 組織としての体制

の不備を深く反省し十分

市議員 組織としての体制

の不備を深く反省し十分

市議員 組織としての体制

の不備を深く反省し十分

市議員 組織としての体制

の不備を深く反省し十分

能登半島地震で被災した家屋
(石川県珠洲市)

して今後の対応を検討し
ていく。

市の防災計画に井戸の
活用が必要では

市議員 災害で断水時の生

活用水確保のための井戸

の確保は想定しているか。

市議員 井戸の活用は想定

していない。

市議員 能登地震では発災

から半年になるのに断水

が続いている。その対策

として八女市でも災害時

の水の確保のため、各町

内の公民館や公園、避難

所への災害用井戸の設置

を求める。

市議員 財源が必要であり、

検討していく。

（体育館）で、き
館の空調設備を整
備し、避難場所を
確保する。

水町典子

映像配信
サイト

高校生 18 歳までの子ども医療費 無償化について

市長

健康維持と子育て世帯の経済的負担軽減に資するよう検討していく

議員 本年10月診療分より中学生15歳まで医療費が無償化される。高校生18歳までの無償化は。

市長 まずは、無償化の影響などを検証していく。

議員 全国7割の自治体で高校生18歳まで医療費助成が実施されているが、

市長 十分検討していく。

介護福祉事業所について

議員 処遇改善制度導入後、A型就労支援事業所の経営悪化での閉鎖が増加していると聞く。市の介護施設で同様の状況は、

課長 具体的な資金不足の相談は受けていない。

議員 事業所が健全に運営されてこそ、市民の暮らしが守られるのでは。

課長 人材育成事業に努め、充実を図っていく。



AED使用時の
三角巾による目隠し

軟骨伝導イヤホンについて

議員 どういうものか。

課長 耳周辺の軟骨を振動させ音を伝える仕組み、

大声で話さなくて済み、

プライバシーが守られる。

議員 市に3台導入済みと聞くが、今後の拡充は、

課長 検討していく。

AEDについて

議員 要救助者が女性の場合の目隠しとして、AED(※)と一緒に三角巾を設置してほしいが、

課長 多様な用途で活用も出来るので、検討する。

※AED(自動体外式除細動器)はいれん(細動)した心臓に電気ショックを与え除細動を行う高度管理医療機器のこと

八女市の森林対策、放置林の増加についての考えを問う

市長

平成20年度から、森林環境税事業を活用し、森林の機能を高めている

映像配信
サイト

久間寿紀



議員 放置林の増加についてどう考えているのか。

課長 森林施策が行き届いていない森林の増加は、木材等の生産といった多面的にわたる機能の低下につながり、災害発生の原因となる。

議員 放置林に対する市の取り組みは、

課長 平成20年度から森林環境税を活用した整備事業を市が主体となり取り組んでいる。

議員 市で山林の買い取りはできないか。

課長 市で山林の買い取りは、現在の森林経営管理制度上できない。山林買い取りの意向調査を行い意見の把握に努める。

議員 上陽支所の改築または新築の進捗状況は、

支所長 各関係機関へ個別に現状の説明を行って、新築集約を進める。

議員 関係機関と連携し、施設の集約を進め避難所として早期の実現を望むが。

市長 現在の支所では災害対応ができていない。なるべく早く対応する。

議員 過疎債を使うことはできないか。

課長 過疎債は、林道の改良、浄化槽の設置、情報通信ケーブル整備事業等に充当している。複合化に過疎債は対象外だが上陽支所と連携して、国庫補助事業等の調査も進めていく。

子どもが遊べる公園の少ない八女東部に多世代交流公園整備の考えは

市長

東部という表現ではなく八女全体を考え様々な角度から検討したい

映像配信
サイト



議員 令和5年の厚労省の発表後、使用済みのお

関して

おむつの持ち帰りに

めて十分検討する。

示をしている。公園も含

めて十分検討する。

市長 スポーツ施設の検

討委員会を立ち上げる指

示をしている。公園も含

めて十分検討する。

議員 バスケットが近年人

気のスポーツとなっている

が、日本には気軽にバス

ケットができる公園が少な

い。市内高校生の目覚まし

活躍も加味し、積極的に

整備してはどうか。



助産院について

という通知をしている。

し協議していただきたい

という通知をしている。

課長 保育施設の規模も

様々なので、それぞれの

施設から支援の内容に関

しては、園長会にて相談

し協議していただきたい

という通知をしている。

むつは、保育施設が処

分するよう推進されたが、

対応が難しい施設もある

処分費用等を全般的に市

として支援はできるか。

マイナ保険証（国民健康保険・後期高齢者医療保険）の利用率は

課長

国保で5.6%、後期高齢者で2.8%である（令和6年3月末時点）

映像配信
サイト



議員 国立教育研究所は、不登校の児童生徒が、数多く学校に復帰している。あるいは不登校の児童生徒が卒業している。そのため不登校の児童生徒は減らなければならぬが、雪だるま式に増えている

不登校対策について

議員 国立教育研究所は、

不登校の児童生徒が、数

多く学校に復帰している。

あるいは不登校の児童生

徒が卒業している。その

ため不登校の児童生徒は

減らなければならぬが、

雪だるま式に増えている

課長 国からの通知が来

ていないので、どのよう

な対応をするかは伝えら

れない。

課長 国からの通知が来

ていないので、どのよう

な対応をするかは伝えら

れない。

議員 現在の健康保険証

は令和6年12月には廃止

予定だが、それに伴い「短

期保険証の仕組みは廃

止となっている。廃止に

なれば、無保険状態にな

り、病院窓口負担が10割

になる。その対策は。

課長 国からの通知が来

ていないので、どのよう

な対応をするかは伝えら

れない。

議員 現在の健康保険証

は令和6年12月には廃止

予定だが、それに伴い「短



1. 不登校の児童生徒に対する自立を促進。
 2. 不登校の児童生徒を生まない学校の取り組み。
- 以上の2点が重要である。

組む。

なデータ処理なので取り

組む。

教育長 新規の不登校の

児童生徒が実際にどれく

らい増えているのか計算

できていなかった。注

目が行かなかった。簡

単なデータ処理なので取

組む。

議員 現在の健康保険証

は令和6年12月には廃止

予定だが、それに伴い「短

期保険証の仕組みは廃

止となっている。廃止に

なれば、無保険状態にな

り、病院窓口負担が10割

になる。その対策は。

課長 国からの通知が来

ていないので、どのよう

な対応をするかは伝えら

れない。

議員 現在の健康保険証

は令和6年12月には廃止

予定だが、それに伴い「短

原 田 英 雄
はら だ ひで お



映像配信
サイト



星野支所、上陽支所の防災対策、耐震化は、どのように考えているか

市長 防災対策は最も重要、できるだけ早く対応できるよう努力していきたい

課長 老朽化が激しく、部品の調達も困難なため再度整備するのは難しい。
議員 水道施設被災時に備えた防災井戸の整備は。
市長 避難所等への飲料水備蓄に加え、令和6年度は大型浄水器を導入予定である。複層的な備えが重要であるので様々な対策を研究していく。



大雨で崩壊した市道

議員 緊急時における情報の伝達、収集方法は。

市長 防災ラジオ、テレビのdボタン広報、インターネット等様々な手段で情報発信に努めている。
議員 星野地区防災行政無線の再利用はできないか。

議員 医療介護等民間施設の避難所活用はいかに。
課長 医療介護等の民間施設を避難所として活用できれば高齢者等の安全・安心につながることを認識している。関係機関と連携して研究を進めたい。
地域活性化、過疎対策について

議員 中山間地域農業・農村の振興対策は。

課長 農地の集約化や条件整備を支援するとともに立地条件に適応した品目振興、収益性の高い作物への転換など生産性の向上、収益性を図ることを基本に農村コミュニティの維持に努めていく。

に八がだ災ん
全る期会にせ
安れ雨議頃ま
心ら梅のくて
が続へ、届き
もみ市、が起
誰住女過よ害
うに！

八女市の30年後の人口ビジョン及びシミュレーションと調査内容は

市長 国勢調査を基本に市各地の状況を把握するよう努めている

映像配信
サイト



服 部 良 一
はつ とり りよう いち



議員 八女市まち・ひと・しごと創生有識者懇談会とはどのような会議か。また、地域の分析は行っているのか。

課長 有識者で構成されており、アドバイスや指摘をいただいている。

議員 30年後の八女市の人口予想は。また、子育て環境が重要と考えるが。

課長 30年後の八女市の人口は3万5600人を想定している。国が子育て環境をどのように整備するか動向を注視する。

議員 奥八女は買物難、公共交通の貧相、通学難、通勤難という現状で、主要道路が不足していると思うが。

副市長 道路行政を力強く進めていく。
GIGAスクール構想に問題点はないか

議員 大前提に、多様な子どもたちを誰一人取り残さないとするが。

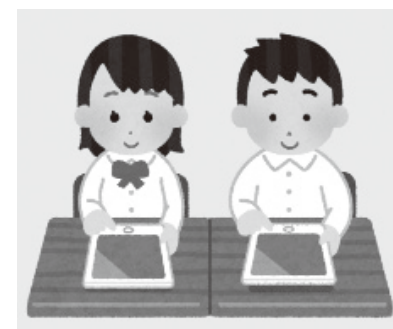
課長 子どもの個人差はあるが、指導に工夫をしている。

議員 学校に來れない子どもたちの対応は。

課長 タブレットの使用に指導が必要であり、持ち帰りは課題がある。

議員 不登校等の子どもこそタブレットが必要ではないか。

教育長 ICTを活用し環境を整えていく。



人口減少に伴う生産年齢人口の減少に 対し財政運営をどう考えるのか

市長 市税等の収入確保や国県補助金の活用、基金の活用等で財政調整に努める

映像配信
サイト



副市長 一般財源を抑え事業効果を高め、健全な財政運営に努める。

課長 経常収支比率は91.4%である。

②は、将来の人口減少も鑑み財政運営をどう考えるのか。

①は、令和4年度決算状況で、経常収支比率（※）は、どうなっているのか。

議員 現時点の市債の返済には30年間を要すると聞かされたが、令和4年度決算状況で、経常収支比率（※）は、どうなっているのか。

課長 新庁舎の建設事業、治水整備事業、河川改修事業等の防災・減災対策事業費が要因である。

議員 令和4年度の市債（※①）の残高260億円が、令和6年度の見込みで364億円のように、104億円増加の要因は。



無駄な公共施設等を見直し！

※①市債
市が歳入の不足を補うために発行する債券（借金）
※②経常収支比率
自治体の財政構造の弾力性の判断となる数値

課長 施設の統合を含め検討する上で、遊休施設を民間に譲渡や賃借することを考えていく。

議員 合併後の時間外勤務が多く、財政運営にも影響していると思うが。

課長 財政の厳しさを基にした取り組みを行っている。

議員 合併後の平均して年間約34億円の費用がかかっているが今後の対応は。

課長 施設の統合を含め検討する上で、遊休施設を民間に譲渡や賃借することを考えていく。

議員 職員の健康管理について

議員 職員の人的配置も合併後本庁は165人増、支所は減少している。住民サービスは充分なのか。

副市長 課題があれば担当課等と協議を進めていく。

議員 職員の健康管理について

388 も在る公共施設の今後について 市民への説明が必要ではないか

市長 重要なことであり適切に対応する

映像配信
サイト



議員 20年後どのような財政状況になるのかというシミュレーションを行うべきでは。

部長 固定資産税が上がるに及ぶ所得の状況もあると思う。

議員 平成22年度以降、市税は人口減少の中で増加しているが、何故か。

課長 人口減少が進んだ社会をどう描くかというのは、計画策定の中で整理すべきと考えている。

議員 人口減少が進んだ社会をどう描くかというのは、計画策定の中で整理すべきと考えている。

課長 人口減少が進んだ社会をどう描くかというのは、計画策定の中で整理すべきと考えている。

議員 第3期総合戦略は、人口減少の抑制策と併せて、人口減少の中でどのようなまちづくりにするかという観点での施策を練るべきでは。

課長 20年後のまちの姿を見据えた上で、限られた財政で重点施策を実現することは重要である。長期的な財政シミュレーションは今後やっていくべきと考えている。



副市長 内部のワーキンググループで方向性を模索しながら策定しているが、不確定要素を含んでいる。

課長 担当部署における整備方針という位置づけのため公表していない。

議員 令和2年度に個別施設計画が策定されているが、公開しない理由は。

課長 令和2年度に個別施設計画が策定されているが、公開しない理由は。

議員 令和2年度に個別施設計画が策定されているが、公開しない理由は。

課長 令和2年度に個別施設計画が策定されているが、公開しない理由は。

議員 令和2年度に個別施設計画が策定されているが、公開しない理由は。

課長 令和2年度に個別施設計画が策定されているが、公開しない理由は。

議員 令和2年度に個別施設計画が策定されているが、公開しない理由は。

課長 令和2年度に個別施設計画が策定されているが、公開しない理由は。

議員 令和2年度に個別施設計画が策定されているが、公開しない理由は。

いし
ばし
よし
ひろ

石
橋
義
博



映像配信
サイト



経済対策と観光事業についての取り組みは

市長 八女市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき各施策等に取り組む

経済対策について

議員 雇用促進と所得向上への取り組みは。

市長 企業誘致の推進、商工業者や農林業者に対する事業を通じて、雇用維持創出を図り、市民の所得向上につながる取り組みを実施している。

議員 ふるさと納税の成果と今後の考えは。

課長 寄付件数は9万4千件、寄付額は14億9千万円、前年度比での件数は134%増、金額は15%増となっている。

また、多くの事業者が活用できるように、年4回の研修を行い、マーケティングの専門家を招いて戦略的アドバイスを行的に取り組んでいく。



う予定である。

議員 プレミアム商品券の今後の考えは。

課長 消費を促すために紙と電子発行分を合わせて総額6億6千万円を予定している。

議員 企業誘致の現状は。

課長 前古賀工業団地に進出企業が決まっている。

議員 観光施設や観光農園を回遊する等、新しい事業の取り組みはあるか。

課長 観光施設や観光農園等点在する場所を線で結び回遊性を図る。地域の利便性、有効性を考慮し、八女市に経済的な潤いを与えられる観光事業に取り組んでいく。

林業に特化されたダンプであれば、補助事業の対象とならないか

副市長 林業用トラックであれば、対象になるよう、見直しできると考える

映像配信
サイト



たか
やま
まさ
のぶ

高
山
正
信



八女市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

議員 人口流出の主要な要因は。

課長 就職と進学、タイミンで転出されている。
議員 八女市に住み続けられるためには何が必要か。

副市長 地域の特性を生かして産業振興を図っていく中で、そこに応じた支援が必要。さらに新しいアイデアで、地域活性化に取り組んでいく。

議員 木材生産・供給体制基盤づくり整備事業に林業用車両への補助は適用されるか。

課長 汎用性が高いので、現在は補助要件から外し



一般国道3号広川八女バイパスを活用した東部地区の活性化について

議員 バイパスを生かす具体的なまちづくり構想はできているか。

課長 計画、構想は現時点では策定に至っていない。立花町光友地区は、都市計画に基づきまちづくりを、庁内調整等を行いつつ進めている。

議員 八女東部に企業誘致をすることによる効果をどう認識しているか。

課長 仕事づくり、雇用環境が大切。そのためには企業誘致の取り組みは重要であると考えている。

みさき学園（仮称）の開校に向け、子どもたちの立場に立った対応を求める

市長 経済的な面も考慮しつつ、安心して通学・学習ができる環境をつくる

映像配信
サイト



花
下
主
茂

は
な
し
た
あ
る
も

議員 みさき学園の開校に伴い、2小学校が廃校となるが跡地の利用は。
課長 新たな取り組みとして地方公共団体のサウンディング型市場調査（※）に応募をしている。
議員 地区によって低学年一人での通学も想定できる。スクールバス運行での個別対応は可能か。
教育長 様々な観点で検討し、個別対応も考える。
行政における町内会（自治会）の役割について
議員 地域内だけでは解決できない課題も多く、専門性を持った人材も必



※地方公共団体のサウンディング型市場調査
民間事業者と市との対話の場。市場の動向や活用アイデアを把握し、民間事業者が参入しやすい公募条件の整理を行うとともに、課題解決に向けて優れた事業提案を受けることができる。

関係者を出し、人を愛し、地域を
人口を生み出す「人」を
材にすべきでは！
投入す

要になる。今後行政としてどう関わっていくか。
課長 地域におけるDX活用も含め、効果的な市政に取り組んでいく。
合併15周年を迎えて
議員 地域事情に目配りできる支所に行政権限を委譲することで地域活性化が図られると考えるが、各支所にはどれくらい裁量権があるのか。
課長 各支所での独自予算はなく、予算要求は本庁のみの権限である。

商工・企業誘致課としての役割とは

市長 企業誘致活動や操業開始後のフォローまで全般的な業務を行っている

映像配信
サイト



小
山
和
也

お
や
ま
か
ず
や

議員 商工振興課と企業誘致課を一つにして商工・企業誘致課とした背景は。
部長 商工業や企業に関する情報の共有化をし、連携を図り一体的に迅速に取り組んでいくため。
議員 本市には企業誘致に関する推進委員会または検討委員会等の設置はあるか。
課長 八女市においては企業誘致に関する推進委員会、検討委員会等の設置はない。
議員 企業誘致全般業務を一つの課だけで担う事は非常に大変だと思う。幅広く誘致活動を行う上でも委員会等の設置を望むが。
課長 八女市の産業施策及び誘致を進めていく上で必要であると考えているので研究していく。
議員 八女市東部地域に大学等の誘致の考えはあるのか。
課長 現在具体的な施策方針はないが大学短大等の誘致は有効な施策であると考えている。
議員 サテライト的な形でよいので八女市東部地域に大学等の誘致をお願いしたいが。
市長 重要な提案だと思うので、しっかり受け止めて努力する。



八女東部斎場

(黒木・矢部・星野・上陽)の

現状を調査

〈厚生常任委員会〉

4月17日

厚生常任委員会では、4月17日に市内東部の斎場4力所の現状を調査しました。

市内には5力所の斎場 能とされます。

があり、八女地区及び立花地区の市民は八女西部斎場「東原園」を、また、黒木地区、矢部地区、星野地区及び上陽地区の市民は、それぞれの地区にある斎場を利用しています。

最も古い黒木斎場は、待合室が狭く、設備等、全ての老朽化が進む旧耐震基準の建物でした。上陽斎場は、駐車場の広さや設備等、4力所の中では最も利便性が高く、炉の増設も可能とのことでした。矢部斎場、星野斎場も、共に年間の稼働数などを勘案すれば、今後、一定期間の使用は可

調査を終えて

「八女市斎場基本計画」の4斎場の統廃合は、ムリやムダが多いなど課題が浮き彫りとなりました。市民のニーズや心情に配慮し、あらゆる角度から再検討する重要性を改めて認識しました。

(水町 典子)

八女市東部斎場概要一覧表

	黒木斎場	矢部斎場	星野斎場	上陽斎場	備考
稼働時期 (築年数)	昭和47年4月 (築52年)	昭和61年12月 (築37年)	平成8年4月 (築28年)	平成9年11月 (築26年)	視察時点での 築年数を記載
火葬炉数	2基	1基	1基(※)	1基(※)	(※)1基増設可能
待合室数	2室	2室	2室	3室	
稼働実績	222回	18回	46回	94回	令和5年度実績
維持管理費	461万円	107万円	250万円	351万円	令和5年度決算見込み

・東部4斎場の施設管理業務委託費用は一括して契約。(令和6年度1023万円)

全国市議会議長会表彰

市議会議員として長きにわたり市政の振興、発展に尽くされた功績により、第100回全国市議会議長会定期総会において、3名の議員が表彰されました。



石橋 義博 議員
(議員10年)

中島 信二 議員
(議員15年)

栗山 徹雄 議員
(議員25年)

6月定例会の採決結果（令和6年第3回定例会）

議案番号	議案名	採決結果
議案第43号	専決処分について（八女市税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第44号	専決処分について（八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第45号	八女市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決(全会)
議案第46号	令和6年度八女市一般会計補正予算（第2号）	可決(全会)
議案第47号	令和6年度八女市矢部診療所特別会計補正予算（第1号）	可決(全会)
議案第48号	監査委員の選任について 《木下 徳臣 氏》	同意(全会)
請 願 第 1 号	あらゆるハラスメントの防止を求める条例制定を求める請願	継続審査 (多数)
請 願 第 2 号	「健康保険証廃止の撤回を求める」意見書採択を求める請願	採択(多数)
請 願 第 3 号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択のための請願	採択(全会)
委員会提出議案 第 2 号	現行「健康保険証」廃止の撤回を求める意見書	可決(多数)
委員会提出議案 第 3 号	地方財政の充実・強化に関する意見書	可決(全会)

は賛否が分かれた議案です

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 一：議長 議長は採決に 加わりません	1 高橋 信広	2 花下 主茂	3 坂本 治郎	4 水町 典子	5 古賀 邦彦	6 久間 寿紀	7 原田 英雄	8 小山 和也	9 高山 正信	10 川口 堅志	11 田中 栄一	12 堤 康幸	13 石橋 義博	14 牛島 孝之	15 服部 良一	16 中島 信二	17 栗原 吉平	18 三角 真弓	19 森 茂生	20 栗山 徹雄	21 川口 誠二	22 橋本 正敏
議案第44号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
委員会提出議案 第 2 号	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
請 願 第 1 号	継続審査（賛成多数）																					
請 願 第 2 号	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一

報告（報告事項のため採決はありません）

報 告 第 4 号	八女市土地開発公社の令和5年度決算及び令和6年度事業計画の報告について
報 告 第 5 号	令和5年度八女市一般会計予算継続費繰越計算書の報告について
報 告 第 6 号	令和5年度八女市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について ※繰越明許費とは、その性質上または歳入歳出予算成立後の事由に基づいて、年度内に支出が完了しない見込みのものを、翌年度に繰り越して支出すること。
報 告 第 7 号	令和5年度八女市一般会計予算事故繰越し繰越計算書の報告について ※事故繰越しとは、避けがたい事故のため年度内に支出が終わらなかったものを翌年度に繰り越して支出すること。
報 告 第 8 号	令和5年度八女市水道事業会計予算建設改良費繰越計算書の報告について

聞いてきました まちの声

表紙によせて VOL. 17

星野村で燃え続ける「平和(原爆)の火」

やまもと たくどう
山本 拓道 氏



1945年9月、故・山本達雄氏は広島市の焼け跡にくすぶる原爆の残り火を親族の形見として星野村に持ち帰りました。多くの命を奪った「恨みの火」はやがて「平和を願う火」として星野村が引き継ぎ、79年経った今も灯されつづけています。いまだに悲慘な戦争が起こる中、山本拓道氏（故人の子）平和への思いをお聞きしました。

お父様はどのように原爆の火を持ち帰られたのですか？

父は3度目の出征で広島市から10 km 東の部隊に配属され、毎日任務で市内に通っておりました。8月6日は偶然にも一本遅い汽車に乗っていたことで即死を免れました。原爆ドームのすぐ近くで書店を営んでいた叔父さん（父を我が子のように可愛がってくれた）を探すなか、書店の地下で「その火」を見つけ、叔父さんの遺骨代わりとしてカイロに移し星野村に持ち帰ってきたと聞いています。

若い人たちにはどんな思いでお話しされていますか？

戦争は理不尽が多く、身の置き所ありません。感じ方は人それぞれですが、若い人たちがどれだけ「戦争」に思いを巡らせてくれるか、その思いで話をしています。世界各地で戦争が起きていますが・・・。

「人間同士が殺し合う愚かなことは、もうそろそろやめないといかん」というのが父の最期の言葉でした。いまだに戦争が起こっていることは残念なことです。

講演を聞く子どもたちはどんな反応ですか？

ロシアとウクライナの戦争以降、子どもたちの反応は大きく変わりました。講演の中で原爆のことだけでなく社会情勢のことも話すと、自分たちにも何か出来ることはないかと積極的な姿が伺えます。同時に、世代の違う人に伝えることの難しさも感じていますね。

議会に対してのメッセージをお願いします。

地元や日本のことに留まらず、世界や更に大きな視点を持って、核兵器廃絶や恒久平和に向けた取り組みをしていただきたいです。



熱中症、ゲリラ豪雨、線状降水帯、私の子どもの頃には聞いた事がない言葉ばかり。
朝は蝉の声で目が覚め、夜になると山沿いの川岸で蛍が飛び交う。そんな風情のある故郷の夏が今や驚愕と恐怖の夏に変わってきている。世界中を襲う異常気象。自然の力の前には非力な私達だが、予防と対策という抵抗は出来る。
変わっていく夏と向き合うには、子どもから高齢者まで防災に心掛け、健康管理を怠らず、毎日を通じて必要不可欠ではなからうか。
いつかまた情緒豊かで風情のある八女の夏が戻ってくる事をひたすら願っている。
(小山 和也)

編集後記

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長
花下	坂本	久間	原田	小山	高山	服部	水町	古賀	橋本
主治	治寿	英紀	和雄	正也	良信	典一	邦彦		正敏

発行責任者 廣報委員会



議会を傍聴しませんか？

次回定例会

8月28日(水)予定

八女市役所議場 午前10時から

八女市議会事務局23-4922

ヒアリンググループ受信機(※)を貸し出しています。

※難聴者の聞こえを支援する機器で、音源の音が直接耳に届き、はっきり聞こえます。